

つなげているのは世界
支えているのは社会



株式会社 TVE

2Q

2023年9月期 第2四半期 財務ハイライト (連結)

POINT

1

主力事業であるバルブ事業において、関西電力などの複数の原発で定期検査工事が完了した他、前連結会計年度の第2四半期より子会社となった太陽電業株式会社における電気設備関連事業の売上計上もあり、前年同期に比べ売上高は増加しました。

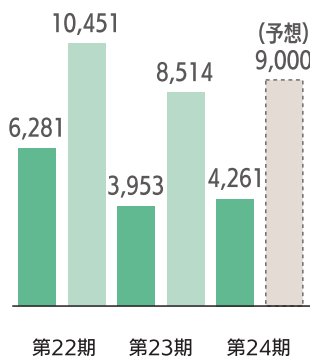
2

バルブ事業において定期検査工事などの原発関係の売上が増加した他、第3四半期以降に納期が到来する仕掛品等の棚卸資産の積み上げなどがあり、売上総利益以下の各利益は前年同期に比べ増加しました。

売上高

4,261 百万円

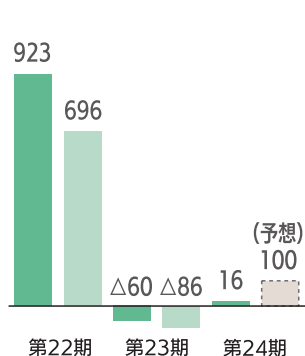
前年同期比 7.8% 増



営業利益

16 百万円

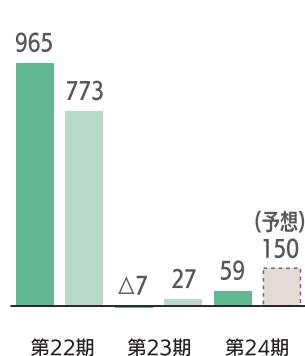
前年同期比 —



経常利益

59 百万円

前年同期比 —

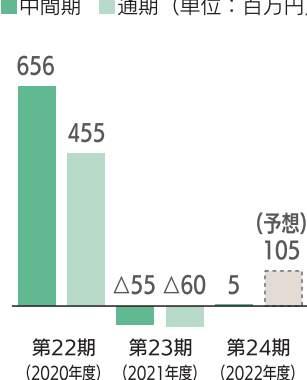


親会社株主に帰属する当期純利益

5 百万円

前年同期比 —

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



2023年9月期の見通し

売上高

9,000 百万円

前期比 5.7% 増

営業利益

100 百万円

前期比 —

経常利益

150 百万円

前期比 439.9% 増

親会社株主に帰属する当期純利益

105 百万円

前期比 —

配当について

第24期の中間配当につきましては、
1株当たり15円とさせていただきます。

● 詳細な財務情報は、
当社ホームページをご覧ください
<https://www.toavalve.co.jp/>





株主の皆様へ

更なる飛躍を目指します
山積する課題を速やかに解決し、



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当第24期中間期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、社会はコロナ前の状態に戻りつつあります。まずは、これまで対応の最前線でご活躍いただいた医療関係者をはじめとした皆様に、改めて心よりの御礼と感謝を申し上げる次第です。5類になったとはいえ、ウイルスが無くなるわけではありませんが、まずは一区切り、誠にありがとうございます。

既に決算短信でご案内のとおり、当中間期の決算は、前年同期に比して増収、利益は黒字となりました。原発での定期検査工事に代表されるバルブメンテナンスと、それに伴い発生する取換部品の売上が中心となったことで採算は改善し、加えて昨年1月に買収した、太陽電業の業績が貢献した結果です。

しかし当期に入り、バルブ製品関係の受注・売上が極めて低調で、この先も大型案件の受注はほぼ見込めない状況から、今後、工場の稼働確保と固定費回収策の強化が大きな課題となっており、下半期から来期に向けて新規受注に奔走している状況です。

さて、昨年来、原発に対する国の政策に大きく期待する情勢ですが、2030年代半ば以降と目される次の需要期まで、どのように会社経営を継続していくのかについて、本年11月開示予定である新中期経営計画の議論をスタートしました。

火力発電、海外原子力の動向と対応、南海トラフ大地震への備え、原発金属廃棄物再利用ビジネスの基盤作り、R&Dセンターによる新技術・新製品の集中開発体制の始動、非財務情報開示対応など、進めていること、取り組むべきことは山積しています。

これからも、自社の課題と社会の課題を併せ解決することで、上場企業としての使命を果たし、原子力・火力発電所の安全・安定運転に貢献するという使命を全うする、これが当社の社是である「信頼される企業として社会の進歩に貢献する」を体現する今の形であると考え、我々の持てる力の全てを投入し努力してまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役
社長執行役員

逆野 幸用

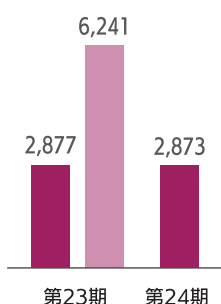
2Q

セグメント別の概況

バルブ 事業

売上高推移

■ 中間期 ■ 通期
(単位：百万円)



売上高 **2,873** 百万円

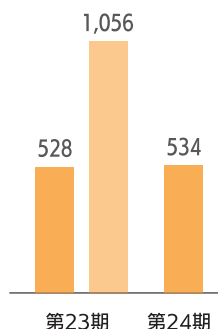
セグメント利益 **506** 百万円

関西電力大飯原発3号機、同高浜原発4号機や九州電力玄海原発3・4号機における定期検査工事が売上計上され、売上高はほぼ前年同期並みの28億73百万円(前年同期比0.2%減)、利益は原発関係の売上が増加した他、仕掛品等の棚卸資産が増加した影響から、5億6百万円(同15.2%増)となり、前年同期に比し増収となりました。

製鋼 事業

売上高推移

■ 中間期 ■ 通期
(単位：百万円)



売上高 **534** 百万円

セグメント利益 **△106** 百万円

前年同期に比し一部顧客からの売上が増加した結果、売上高は5億34百万円(前年同期比1.0%増)、利益は電力料の増加等があったものの、受注残の増加に伴い棚卸資産が増加した影響から、1億6百万円の赤字(前年同期は1億44百万円の赤字)となり、前年同期に比し損失は減少となりました。

当社では、女性活躍の推進、ダイバーシティの実現、個のチカラの最大化等を行うことで、すべての従業員がその能力を十分に発揮できる、明るく働きやすい職場環境づくりを目指しています。

こうした活動を当社の組織風土として定着させるため、中期経営計画に掲げるTAMES ProjectのひとつとしてTAMES-Activeに盛り込んでいます。

また、女性活躍推進法にも準じて次のように一般事業主行動計画を策定しています。

一般事業主行動計画

- 目標1 全従業員に占める女性社員の比率を16%以上とする。
- 目標2 管理職に占める女性労働者の人数を3名以上とする。
- 目標3 配偶者出産休暇取得率を100%とし、平均取得日数を3日以上とする。
- 目標4 育児休業等取得率を男性50%以上、女性100%(現状)とする。
- 目標5 育児休業等の平均取得期間を男性 通算1か月以上、女性 1年(現状)とする。
- 目標6 有給休暇取得率を80%以上とする。

TAMES-Active活動は、これらの目標達成に向けて3つのグループで構成しています。各グループの活動状況は、四半期ごとに管理本部長、人事総務部長も含めて報告会を開催し、経営会議でも共有することにより定期的な職場環境改善の実践を促しています。

今回は、2023年4月25日に開催した第5回四半期報告会の概要をご紹介します。



グループ②主催セミナー「部下を育て、生産性を高めるコミュニケーション力とは」1～3月の3回に分け、係長職以上の従業員80名が受講しました。

グループ①

活動テーマ 目標1 女性社員比率向上について

発表内容 職場環境の整備、モチベーションアップ策の実施による離職防止策

グループ②

活動テーマ 目標2 女性管理職数の目標達成について

発表内容 外部講師による「生産性を高めるコミュニケーション力」に関するセミナー実施、セミナーの総括と社内制度の検討

グループ③

活動テーマ 目標3・4・5

配偶者出産休暇・育休取得率向上、取得期間の目標達成について

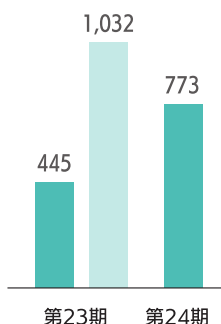
発表内容 育児休業制度取得従業員インタビューを社内報へ掲載

これらの活動を今後も継続し、中期経営計画2019に掲げている「人のチカラ、つくるチカラ、まもるチカラ」の具現化のため、人をつくり、人を磨き、経営基盤を強化するための人材戦略に統合するよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

電気設備関連事業

売上高推移

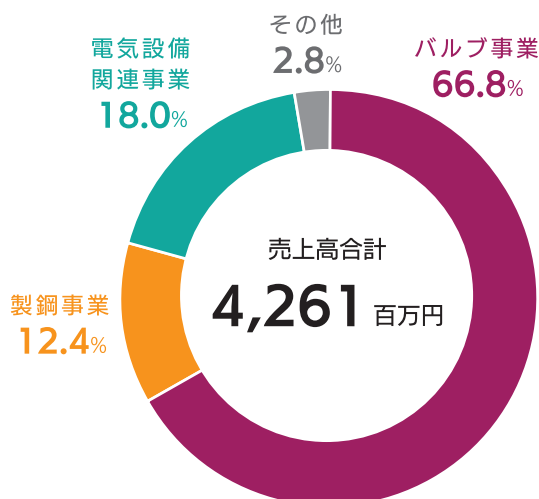
■ 中間期 ■ 通期
(単位:百万円)



売上高 **773** 百万円

セグメント利益 **110** 百万円

前連結会計年度から報告セグメントに追加した本事業は、2022年1月より新たに子会社となった太陽電業株式会社における設備・放射線計測器類の保守や電気設備工事等を主に行っており、売上高は7億73百万円(前年同期比73.7%増)、利益は1億10百万円(前年同期比11.5%増)となりました。



会社の概況

(2023年3月31日現在)

商号	株式会社TVE
英文	TVE Co., Ltd.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
設立日	2000年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務
従業員	295名（連結398名）

株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	10,040,000株
発行済株式の総数	2,461,600株
株主数	1,600名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西華産業株式会社	505,400	21.62
株式会社UH Partners 2	183,700	7.86
光通信株式会社	171,400	7.33
TOA取引先持株会	101,700	4.35
株式会社UH Partners 3	100,600	4.30
NPBN-SHOKORO LIMITED	76,200	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	73,200	3.13
株式会社エスアイエル	54,700	2.34
前島 崇志	47,900	2.05
DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C)	37,500	1.60

※当社は自己株式123,517株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

公告の方法

東京証券取引所 スタンダード市場
電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.toavalve.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店で支払いいたします。

TVE 株主通信アンケート結果について

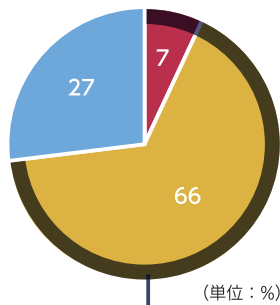
[株主通信]第23期 報告書で告知したWEBアンケート結果を報告します。

【実施期間】 2022年12月23日～
2023年2月28日

【回答者数】 71名

当社株式の今後の保有方針

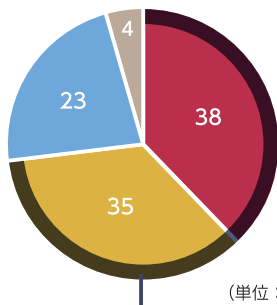
- 買い増し
- 長期保有(1年以上)
- 未定



「買い増し」「長期保有」が73%を占めています。

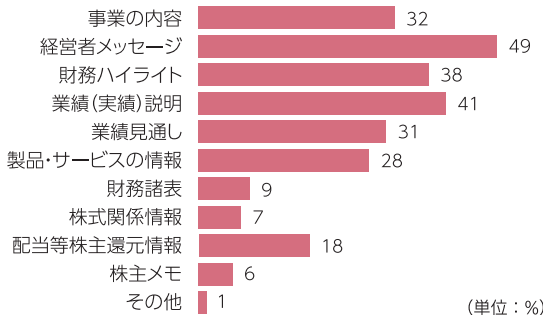
株主通信の掲載内容の評価

- 分かりやすく掲載内容も十分
- 分かりやすいが掲載内容を充実すべき
- 分かりやすさも掲載内容も平均水準
- 掲載内容は十分だが分かりにくい



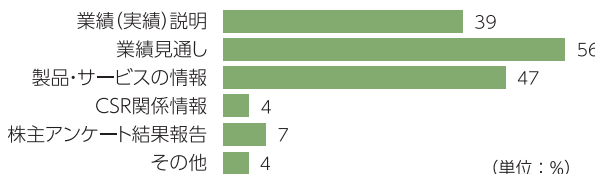
「分かりやすく掲載内容も十分」「分かりやすいが掲載内容を充実すべき」を合わせて73%。前回より4ポイントアップしました。

興味深かった記事



(単位：%)

今後充実してほしい内容



(単位：%)

第23期報告書の「TVE 株主通信アンケート」では、創業100周年を記念したロゴ入りタンブラーのプレゼント企画を実施しました。67名の方にご応募いただきプレゼントをお渡ししました。ご参加賜り誠にありがとうございました。皆様にご提供いただきましたコメントの一部を下記に掲載いたします。

主なコメント

- ・ 長期の具体的な成長戦略を示してほしい。
- ・ 営業力を強化し安定的な業績を積み上げてください。
- ・ 水素関連や次世代原発関連の開発研究に注力してほしい。
- ・ 株主還元を充実するようお願いいたします。